

目次

はじめに

第1部 造林公社問題についての認識と見解 ----- 1

- 1. 本報告の構成と第1部の性格 2
- 2. 検証にあたっての基本的視点 3
- 3. そもそも融資による林業公社方式の造林は適切であったのか（第1の視点） 4
- 4. 債務が累積していく過程で、事業の見直しや中止はできなかったのか（第2の視点） 10
- 5. 累積債務の処理は適切であったのか（第3の視点） 13
- 6. 結論 16

第2部 事実経過と経営悪化に至った要因の分析と評価 -- 19

第1章 造林公社問題に関する事実経過 ----- 21

- 1. 国および国関係機関の林業公社に関する政策 ----- 22
 - (1) 木材需要の動向と国の木材政策 22
 - (2) 国の拡大造林政策と補助制度 25
 - (3) 林業構造改善政策 26
 - (4) 国の分収造林政策 27
 - (5) 国の林業公社に関する政策 28
 - (6) 国の融資政策 31
- 2. 国および国関係機関の林業公社問題への対応 ----- 36
 - (1) 林業公社の経営問題に対する国の基本的な考え方 36

(2) 林業公社の経営問題に対する融資制度上の対応	38
(3) 林業公社の経営問題に対する補助制度上の対応	39
(4) 国有林野事業の抜本改革の状況	40
(5) 林業公社の経営対策等に関する検討会	42
3. 滋賀県の両公社に関する政策 -----	43
(1) 滋賀県の造林施策	43
(2) 琵琶湖総合開発計画	45
4. 滋賀県の両公社の事業運営 -----	49
(1) 両公社の設立	49
(2) 両公社の事業の実施	54
5. 滋賀県の両公社の経営改善の取組 -----	62
(1) 両公社の経営改善の取組	62
(2) 経営改善検討会議等の取組	67
(3) 特定調停から免責的債務引受に至る取組	69
(4) 国等への働きかけ	77

第2章 両公社が経営悪化に至った要因の分析・評価 -- 81

1. 国および国関係機関の林業公社に関する政策 -----	82
~ 林業公社に関わる国の政策は適切だったか ~	
(1) 木材需要の変化への対応	82
(2) 分収造林特別措置法の仕組み	82
(3) 林業公社による造林政策	83
(4) 融資による造林政策	84
(5) 国有林野事業との違い	86
(6) 林業公社のビジネスモデル	86
(7) 外郭団体の問題点	87
2. 国および国関係機関の林業公社問題への対応 -----	88
~ 林業公社の債務問題についての国と公庫の対応は適切だったか ~	
(1) 林業公社問題への国の対応のあり方	88
(2) 林業公社問題への国の対応の時期	89

(3) 林業公社問題への国の対応の内容	90
3. 滋賀県の両公社に関する政策 -----	93
~ 滋賀県の両公社に関わる政策(特に琵琶湖総合開発)は適切だったか~	
琵琶湖総合開発の両公社の造林推進への影響	93
4. 滋賀県の両公社の事業運営 -----	95
~ 滋賀県の両公社の設立、目的、事業内容等は適切だったか~	
(1) 両公社の事業目的と効果	95
(2) 両公社の設立	98
(3) 両公社の事業実施内容	99
(4) 両公社のコストおよび債務増加	101
5. 滋賀県の両公社の経営改善の取組 -----	104
~ 滋賀県および両公社の債務問題に対する取り組みは適切だったか~	
(1) 両公社の経営の問題点と滋賀県および両公社の責任	104
(2) 造林公社問題への対応	108

附属資料

参考資料

造林公社問題検証委員会